

## 診療放射線技師専門研修

研 修 名 : マンモグラフィ専門研修

対 象 者 : マンモグラフィ領域全般の撮影技術と画像評価法および精度管理について、技術習得を希望する診療放射線技師。

研 修 目 標 :

- (1) 日常診療におけるマンモグラフィ撮影技術および読影法を習得する。
- (2) デジタルマンモグラフィ品質管理マニュアルに沿った精度管理を習得する。
- (3) 自施設および地域で教育・指導ができる人材を育成する。

研 修 方 法 :

- (1) 主に実習形式による研修を行い、必要に応じて講義およびディスカッションを行う。
- (2) 精度管理はデジタルマンモグラフィ品質管理マニュアルに沿って行うので、研修には教科書を持参のこと。

研修プログラム 1 (1 週間)

ポジショニングと精度管理 (前編)	
1	日常診療におけるマンモグラフィ撮影技術および読影法の研修
2	乳房圧迫器の圧迫圧の表示精度・持続性, 圧迫厚の表示精度, 圧迫器の安全管理
3	エックス線照射野と受像器面との整合性
4	管電圧の表示精度
5	エックス線出力
6	半価層 (HVL)
7	AEC 作動の再現性
8	AEC 作動時の平均乳腺線量 (AGD)
9	AEC 作動時の CNR

研修プログラム 2 (1 週間)

ポジショニングと精度管理 (後編)	
1	日常診療におけるマンモグラフィ撮影技術および読影法の研修
2	アーチファクトの確認
3	画像歪みの確認
4	加算的ラグ効果の確認
5	乗算的ラグ効果の確認
6	ダイナミックレンジの確認
7	システム感度の確認
8	空間分解能の確認
9	画像表示システムの確認
10	イメージャーの確認

備考

- 1) 原則として、1プログラムにつき1週間単位での受講となるが、受講期間は相談に応じます。  
(例: 連続した1週間での受講は困難なため、都合のつく5日間で受講したい)
- 2) プログラム内容についても相談に応じます。(例: 精度管理については十分な知識を持っているので、撮影技術を重点的に受講したい)